

漫画で伝える戦争と平和 Convoying War and Peace through Manga

三木 亮輔
教員氏名¹⁾ 西野 隆司

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 価値創造研究室

キーワード：戦争, 平和, 漫画, 対比,

1. 研究目的

戦後 78 年経つが、未だ世界平和は実現していない。ウクライナ侵攻、パレスチナ情勢など問題は山積みであり、現在世界情勢は緊張状態にある。また、2023 年は原爆開発の伝記映画が大ヒットし、G7 広島サミット開催なども相まって原爆や戦争への注目が多く集まった年だ。これらの理由から戦争にフォーカスした研究を行い、事態の改善に向けて世の中に考えるきっかけを与えたいと思ったのが研究のはじまりだ。

2. 調査内容

①若者の戦争に対する意識

近年の若者の戦争に対する意識についてリサーチした。結果、ウクライナ侵攻や台湾有事など直近の話題には関心を示しているものの、グラフ 1 のように過去の戦争についての関心は薄れている傾向にあると分かった。山口県のローカル新聞の調査では、100 人の高校生に終戦記念日が何日かという質問を行い、半分以上の人数が正しく回答できなかったとのことだ。

日本の終戦の日は何年何月何日ですか？



グラフ 1 日本の終戦の日は何月何日ですか？

(出典：日刊新周南電子版)

②戦争を扱った作品

戦争について扱った作品を、本から漫画、映画まで調べ、大きく 2 種類に分けると分かった。「この世界の片隅に」や「はだしのゲン」など、戦時中の庶民の生活にスポットを当てた作品と、「永遠の 0」や「ペリリュー」など、戦場での戦いについて描いた作品だ。後者のように前線や兵器について取り上げるには多大な調査が必要のため、比較的研究しやすい庶民の生活にフォーカスし、研究を進めることにした。

3. コンセプトおよびアイデア展開

最終的な提案物としては、戦争をテーマにした漫画を描くことに決定。読み切り漫画として最適な、30~40 ページほどの漫画を作成することにした。若者が触れるきっかけとしても最適で、SNS への掲載も可能である。また、漫画にすることで史実や関連作品のオマージュ、象徴的な出来事を台詞を使ってそれとなく引用することもできる。漫画として成立させるため、制作にあたり以下のような制約を設けた。

- ・ページ数が限られるためできる限りメインの登場人物の人数を絞ることにする。
- ・ヘビーなテーマを扱った漫画になるので、若者受けするコミカルな要素を盛り込みバランスを取る。
- ・戦争による惨事をわかりやすくするため、戦争前と戦争後の建物や背景の対比などで表現し、死

体などの残酷描写は極力描かない。



図1 戦前の建物試作 図2 戦後の建物試作

以上の二枚が、戦争の前と後の対比の試作だ。この要素を随所にちりばめる。

4. 最終提案

現在 CLIP STUDIO を使用し漫画の制作を進めている。舞台は戦時下の日本で、女学生とそれを取り巻く走馬灯を見ることで、自身の人生を振り返るというものだ。その過程で主人公の生活する街並みを描写し、戦争の前と後でその景色を対比していく。プロローグからある程度コミカルで、「戦争漫画」と銘打つにはギャップのある、手に取るハードルが低い漫画を目指している。

「興亜建国パン」や「ミゼットキャンディー」など、当時出回っていたアイテムを散りばめ、物語の細部を詰めることを試みている。また、昭和の資料を参照することで、できるだけ当時の街並みを再現し、描き込みを増やすことで読者に昭和の生活に触れてもらうことを目指す。



図3登場人物たちの会話 図4戦争前の背景試作

5. 参考文献

- 日刊新周南電子版 (2023/08/12)
<https://www.shinshunan.co.jp/news/report/other/202208/016467.html> (参照日: 2023/10/10)
- こうの史代 この世界の片隅に
<https://konosekai.jp/> (参照日: 2023/06/20)
- 百田尚樹永遠の0

<https://bookclub.kodansha.co.jp/product?item=0000205124> (参照日: 2023/06/25)

- 平塚柁緒太平洋戦争 (目撃者が語る昭和史第6巻)

<https://www.amazon.co.jp/太平洋戦争-目撃者が語る昭和史-平塚-柁緒/dp/4404016492>

(参照日: 2023/07/27)

- 筒居 譲二読む年表 太平洋戦争 開戦から・終戦まで 1396日の記録

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784769816935> (参照日: 2023/08/10)